

メールの URL フィルタ スキャン失敗へのソリューション

目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[コンテンツ フィルターを使って](#)

[メッセージ フィルターを使って](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は URL フィルタ スキャン失敗メールのためのシナリオおよびソリューションを on Cisco 記述したものです。URL フィルタは Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)、Cisco クラウド E メール セキュリティ (CES) でイネーブルになり、スキャンは失敗します。

問題

URL フィルタ スキャンが失敗するシナリオは下記のとおりです:

- URL 評判およびカテゴリを得ることが不可能。
- メッセージの短くされた URL を拡張することが不可能。
- メッセージ ボディまたはメッセージ添付ファイルの URL の数は最大 URL 走査限界を超過します。

注: URL フィルタ スキャン失敗操作は AsyncOS 11.1 で前にしか適用し。

解決策

処理するためにオプションを表しているメッセージ フィルターにオプションがありませんまたは内容フィルターの状態は壊れる URL フィルタ スキャンします。

URL フィルタ スキャンが失敗するとき、ESA はヘッダをメールにこれらの付加します:

X-URL-LookUp-ScanningError

コンテンツ フィルターを使って

1. へのナビゲート GUI > 着信か発信コンテンツ フィルター。
2. コンテンツ フィルターの発注を、作成される新しいフィルタ現在の URL フィルタリング内容フィルターの下であるなります確認して下さい。
3. 『Add Filter』 をクリックして下さい...

4. フィルタを挙げ、URL フィルタリング なコンテンツ フィルターの下でそれを発注して下さい。
5. 『Add』 をクリックして下さい状態を...
6. 他のヘッダおよび Radio ボタン ヘッダ存在を選択して下さい。
7. ヘッダー名: テキストボックスは、「X URL ルックアップ ScanningError」を追加します。
8. このメールに好まれた操作を追加して下さい。
9. 変更を送信し、確定します。

サンプル内容フィルタの出力例はイメージに示すようにあります。

Content Filter Settings			
Name:	<input type="text" value="Unscannable_URLs"/>		
Currently Used by Policies:	No policies currently use this rule.		
Editable by (Roles):	No roles selected		
Description:	<input type="text"/>		
Order:	6 (of 6)		

Conditions			
<input type="button" value="Add Condition..."/>			
Order	Condition	Rule	Delete
1	Other Header	header("X-URL-LookUp-ScanningError")	<input type="button" value="Delete"/>

Actions			
<input type="button" value="Add Action..."/>			
Order	Action	Rule	Delete
1	Add/Edit Header	edit-header-text("Subject", "(.*)", "[URL SCANNING ERROR]\\1")	<input type="button" value="Delete"/>

メッセージ フィルターを使って

注: URL フィルタ スキャン失敗の処置をとるために、URL フィルタはメッセージ フィルター レベルする必要があります。

1. CLI にログインします。
2. コマンド フィルターを実行して下さい。
3. コマンド リストを実行して下さい。
4. URL フィルタリング なメッセージ フィルターの発注に注意して下さい。
5. 新しいコマンドを実行して下さい。
6. URL フィルタ スキャン エラー イベントの適切な行動を奪取 するためにメッセージ フィルターを挿入して下さい。 サンプル フィルタはここに提供されます。
7. オプション: コマンド移動を実行し、現在の URL フィルタ メッセージ フィルターの下でこの新しいフィルタを移動して下さい。
8. 変更を送信し、確定します。

```
Unscannable_URL_Filter:
if header("X-URL-LookUp-ScanningError")
{
edit-header-text("Subject", "(.*)", "[URL SCANNING ERROR]\\1");
}
.
```

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [ESA URL フィルタリング有効化とベスト プラクティス](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)